

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	浜松市根洗学園			
○保護者評価実施期間	令和6年10月25日 ～ 令和6年11月8日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	150名	(回答者数)	95名
○従業者評価実施期間	令和6年10月25日 ～ 令和6年11月1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	76名	(回答者数)	50名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との交流が多く、やりとりが丁寧で、園での様子を細かく伝えられている。家族の参加してもらう行事も多くあり、顔を合わせたり一緒に活動をする機会が多い。	生活記録で1日の様子をやりとりしたり、おたより帳を活用し、ご家族になった形のやり取りを心掛けている。ケガなどの時には特に丁寧に、電話等で様子を伝えるようにしている。	ご家族の利用のしやすさに合わせ、おたより帳の電子化やお便りのカラー発信ができるよう、ITを活用していく。
2	多職種の職員がいることで、専門支援や相談の入り口支援を丁寧に行っている。それぞれの視点を持って子どもや家族を多面的に見立て、フォローや支援を行うことができている。	職員間での事例検討会や専門職毎の会議等により、働きながら自己研鑽が叶っている。専門職がいる故に、園外の関係機関との連携も取りやすい。	職員間での研修の場や、会議、意見交換を積極的に行っている。
3	引き継ぎ、移行支援を地域や関係機関と連携して行っている。	保育所等訪問や巡回支援事業で得た、地域の園の情報を活用しながら、保護者からのニーズに合わせて、園を探るところからの情報提供ができている。保護者とも面談をしながら、園での生活の様子を確認した上で以降の為の日数の調整等を行えている。	各地域での幼稚園・保育園の交流の機会を保證できるように連携を図っていく。地域の園の先生方にも根洗学園学園の療育を知ってもらえるように発信の機会や場を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物が古く、利便性が低かったり、暗い印象を与えてしまう。	建物の老朽化	清潔さを維持するためにこまめな掃除や整理整頓を続けながら、適時改修工事を市と協議しながら進めていく。
2	職員育成や、スキルアップの手法の確立が図れていない。	メンター制度等、新人研修の体系などが整備されていない。	基礎知識等、獲得スキルの目標を明確にすることで、職員が自ら学ぶ姿勢が高まることが期待できる。
3	巨大地震が起きた場合などの、業務維持計画が十分か、確認方法がない。	体験、経験値が低く、予想し切れない状況にどう折り合いをつけるかが難しい。	全国の事業所内での対応や取り組みの情報を集め、行政や自治会と連携した対応方法を確立していく。